

仏壇を見極める確かな目が信頼を生む

伴野屋仏壇店（小牧）

伴野屋仏壇店（小牧市）の創業は大正時代にまで遡ることができる。創業者は明治二十九年生まれの伴野清重氏。家具製造から仏壇製造に転向し、昭和十二年に開催された「名古屋汎太平洋平和博覧会」において出品した黒檀製仏壇が銅牌を受賞している。

創業地は元々名古屋市内の東橋通りであったが、戦中に小牧に移転、

昭和二十七年現在地に店舗を構えた。二代目は伴野重彦氏、三代目が現社長の伴野純二氏。「以前はこの店で練り物の唐木仏壇を作っていたんですよ、現店舗は工場の一部でしたから」と語ってくれた伴野社長は昭和二十四年生まれ。「奥にはウチが作った仏壇が祀っております」と語る伴野社長にお願いし

て、伴野家の御内仏を拝見したが、黒檀の堂々とした仏壇であった。

金仏壇のイメージの強い愛知県だが、小牧市を中心とする地域は唐木仏壇の販売も多く、元々が唐木仏壇の製造メーカーということもあり、店内

の仏壇展示は唐木仏壇が中心だ。

仏壇公正取引協議会に加盟している伴野屋仏壇店は、規約に沿った表示を行っており、伴野社長は「お客様への信頼感が増した」と語る。

◎総本家伴野屋仏壇店
小牧市中央一丁目一五
TEL〇五六八（七六）
二三七八 FAX〇五六
八（七六）二三九七



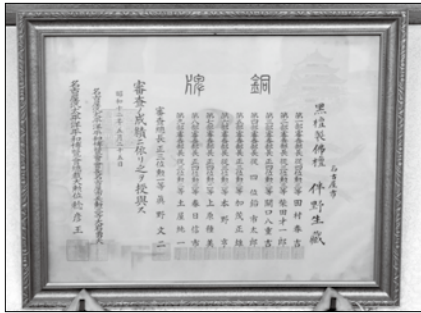
伴野屋仏壇店
以前は唐木仏壇を製造しており、
製造者の確かな目で仏壇を販売する



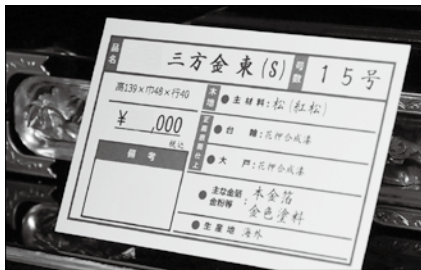
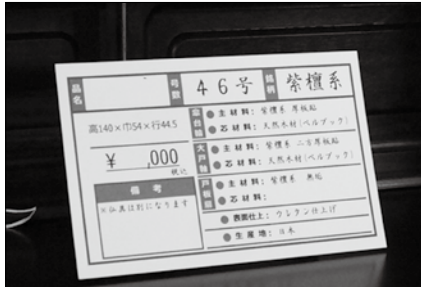
唐木仏壇・金仏壇・都市型仏壇と
内容豊かな展示だ
唐木仏壇は練り物にこだわりを持つ



店舗奥の伴野家の仏壇
伴野屋仏壇店製造
の唐木仏壇だ



昭和12年開催の博覧会に出品した
黒檀製仏壇が銅牌を受賞



仏壇公正競争規約に沿った表示
上・唐木仏壇 下・金仏壇